

教育課題に対する評価結果

日置市立上市来小学校

2学期の学校教育活動（職員の取り組み方，子どもの実態）について，全職員で自己評価を実施しました。結果は下の表の通りですが，職員の取り組みが，子どもたちの姿として十分に現れていないことが分かります。3学期は子どもたちの実態が全項目3以上になるように取り組んでいきたいと思います。

※数値は5段階評価の平均値

＜ 職員の取り組み方 ＞		
領域	評 価 項 目	2学期
基礎・基本の定着と学力の向上（教 師）	「めあて」と「まとめ」を板書している。	3.8
	自分の考えを書いたり，話し合ったりする場を確保している。	4.2
	相手を意識した発表をさせている。	3.8
	朝の読書の確保や学校図書館等の利用の促進を図っている。	4.2
	音読の継続など読む力（音読力・読解力）の育成を図っている。	4.4
	学年に応じた家庭学習の習慣化を図っている。	4.0
特別支援教育・生徒指導・ 心の教育の推進（教師）	一日1回，心を一つにして歌う時間を確保している。	3.8
	自他の人権を尊重し，思いやりのある言動がとれるよう支援・指導している。	4.1
	特別な支援を要する児童の適切な実態把握と全職員での共通理解を図った支援に努めている。	4.1
	道徳の時間を確保し，子どもの心に届く指導法の工夫・改善に努めている。	3.8
	児童・保護者との教育相談を計画的に実施している。	3.6
基本的生活習慣の確立 （児童）	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が確立している。	3.4
	場や相手に応じた言葉づかいができる。	2.6
	名前を呼ばれたら「はい」という返事ができる。	3.3
	机の中やかばん棚の整理整とんができています。	3.3
	靴箱のくつはきれいにならんでいる。	3.8
気力・体力の向上（教師）	ほけんだより等を通して，自分の健康に関心を持たせ，実践的な態度の育成に努めている。（食事のマナー，姿勢，歯磨き，疾病治療等）	4.0
	（体力・運動能力の結果に基づいて，）めあてをもたせた体力作りに取り組ませている。	3.2

＜ 子どもの実態 ＞		
領域	評 価 項 目	2学期
学校の教育目標（目指す子ども像）	子どもは，心のこもった気持ちのよいあいさつができています。	3.8
	子どもは，「ありがとう」という感謝の言葉を自然に言えるようになっている。	3.6
	子どもは，相手の立場に立った言動ができています。	3.4
	子どもは，学習時間に積極的に発表している。	4.4
	子どもは，話をしている人を見て，落ち着いて最後まで聞くことができています。	3.0
	子どもは，よりよい生活を目指して意見を述べたり，実践したりしている。	3.0
	子どもは，時間を守ったり，場の雰囲気を考えて行動したりができています。	4.0
	子どもは，進んでみんなのための仕事や手伝いをしている。	3.6
	子どもは，友達と楽しくかかわりあいながら進んで体を動かしている。	3.8

